

令和4年度 事業報告書

本法人の目的である失明原因の解明と失明の予防並びにウイルス眼炎その他の眼感染症の予防及び研究に対して助成を行うほか、失明予防及び眼感染症の予防・治療に関する知識の啓発普及等の事業を行ってきた。令和4年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対応しつつ、本法人の公益目的を達成するために必要な事業の遂行に果敢に取り組むことができた。

1. 一般研究助成(公募)事業

令和4年度の一般研究助成事業の募集は令和4年5月30日から公募を開始し、7月31日に応募を締め切り。個人研究4件、共同研究1件の申請を受理。

研究助成選考委員会の審査結果を受けて、理事会で承認された次の研究課題について助成を行った。

「加齢黄斑変性におけるオートファゴソーム・リソソーム融合と SNARE タンパクの病態解明」

納 富 昭 司 (九州大学病院眼科 助教)

2. 特定研究助成(公募)事業

実施するための寄附金が集まらず、令和4年度は助成を行わなかった。

3. 国際協力助成事業

1) 留学研究助成(非公募)

外国、主として東南アジア諸国から日本に短期留学する眼科医に対して研究助成を行っている。令和4年度は1名の申請を受理。研究助成選考委員会の審査結果を受け、理事会で承認された次の1名に対して助成を行った。

杜 沛岩(千葉大学大学院医学研究院眼科学研究生:中華人民共和国)

受入先:千葉大学大学院眼科学

2) ワークショップ助成(非公募)

インターカントリー失明予防ワークショップは、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の状況を踏まえ令和4年度も開催されず助成を行わなかった。

3) WHO 提唱の2030 IN SIGHT 活動に全面的に協力しているところであり、引き続き国際失明予防協力機構(IAPB)及びWHOとの連携のもとに、国際失明予防事業推進に協力している。

4. 学会等研究助成(非公募)

第76回日本臨床眼科学会の共催セミナーである次のセミナーを後援し、事業経費の一部について助成を行った。

・第17回日台眼科ジョイントミーティング(令和4年10月13～14日:東京国際フォーラム)

5. 失明予防に関する啓発事業

1) 一般の人を対象にした目に関する正しい知識を啓発する冊子である「チェック&チェック(Part50)」を広報委員会の各委員が執筆すると共に委員会において内容検討を行い、理事会に提出のうえ承認を経て6月に発行。

令和3年度からポスター(掲示用データ)も新たに加えて制作しており、令和4年度も2種類のデータを本法人のHPに掲載している。この掲示用データを小学校等の教育活動の現場においても広く活用してもらうため、各都道府県教育委員会及び政令指定都

市教育委員会(67か所)に啓発冊子「チェック&チェック〈Part50〉670部」を配付すると共に、当該データをダウンロードしてポスター掲示も可能である旨の周知啓発を図った。

2) 会報「失明予防 Vol.35」を12月に発行。会員及び関係団体に配布した。

6. 「目の愛護デー」行事等への協賛・後援

1) 厚生労働省主催の「目の愛護デー」行事への協賛

眼疾患の早期発見、治療等目の衛生に関する注意を喚起し、公衆衛生の向上を図るという趣旨で、10月10日を「目の愛護デー」として主催する厚生労働省及び日本眼科医会の協賛要請を受入れ、協力した。

2) 都道府県眼科医会主催の「目の健康講座」行事を後援すると共に、啓発冊子「チェック&チェック〈Part49〉700部」及び「チェック&チェック〈Part50〉」3,050部を以下の各眼科医会の開催会場に提供した。

鹿児島県眼科医会、京都府眼科医会、宮城県眼科医会、高知県眼科医会、徳島県眼科医会、山口県眼科医会、広島県眼科医会、神奈川県眼科医会、愛知県眼科医会、兵庫県眼科医会

3) 東京都眼科医会主催の「Tokyo Eye Festival 2022」行事(10月8～9日)を後援し、啓発冊子「チェック&チェック〈Part50〉」を100部提供した。

4) 愛媛県眼科医会主催の「目のこと何でも電話相談」行事を後援した。

5) 社会福祉法人 東京光の家 「愛のサウンドフェスティバル」行事(9月24日)会場へ啓発冊子「チェック&チェック〈Part50〉」を50部提供した。

6) 精神障がい者支援事業(使途指定寄附金拠出事業)(非公募)

令和2年度遺贈(故 家城しづ子氏)寄附金は、精神障がい者の救済に役立てることを目的とした寄附金であるが、本法人は精神障がい者の失明予防並びに眼疾患の予防及び知識の普及啓発を図る観点から、この寄附金を受入れたところである。令和4年度は、地域における目に関連した各種の障がい福祉サービスに役立ててもらうため、啓発冊子「チェック&チェック〈Part50〉」を全国の子精神保健福祉センター(69か所)に計1,380部発送し、その普及啓発に努めた。

7) 「第17回日台眼科ジョイントミーティング」セミナー後援した。

7. 募金活動

本法人は、税法上の「特定公益増進法人」の認定を受けており、毎年度公益事業遂行のために募金活動を行っているが、日本国内がコロナ禍の状況にありながらも、本法人の事業継続と発展のために、令和4年度も募金の趣旨に賛同された個人並びに企業団体等各位からご協力をいただいた。

次のとおり寄附を受けた。

寄附件数合計145件、寄附金総額は 6,724,552円 となっている。

(ホームページ上にご芳名掲載許可の寄附者のみ記載。)

1) 一般寄附 募金箱設置協力先 (敬称略)

二本松眼科病院(東京都)

医療法人社団達洋会 杉田眼科(東京都)

佐野眼科医院(東京都)

医療法人社団江山会 江口眼科病院(北海道)

東京都眼科医会 アイフェスティバル会場(東京都)

2) 一般寄附 法人 (敬称略)

参天製薬株式会社	株式会社オフテクス
東海光学ホールディングス株式会社	日東メディック株式会社
千寿製薬株式会社	HOYA株式会社
大河実業株式会社	株式会社ニコン・エシロール
株式会社 メニコン	大塚製薬株式会社
興和株式会社	株式会社リイツメディカル
医療法人湘山会 眼科三宅病院	医療法人社団 ささもと眼科クリニック
医療法人光仁会 貴嶋眼科	医療法人社団 柿木会 馬詰眼科
医療法人 安間眼科	医療法人社団 たかの眼科
医療法人社団緑泉会 南波眼科	医療法人明世社 白井病院
医療法人 出田会 出田眼科病院	医療法人仁光会 日谷眼科
医療法人弘鳳会 おぐりクリニック	医療法人 木村眼科医院
医療法人湘陽会 ルミネはたの眼科	医療法人社団同潤会 眼科杉田病院
医療法人社団明正会 柿栖眼科医院	医療法人社団真医会
医療法人財団シロアム会 新城眼科医院	一般社団法人銀河基金
医療法人社団海仁 海谷眼科	医療法人社団 いしい眼科
医療法人社団オリンピア会オリンピア眼科病院	医療法人 しらね眼科
医療法人和芳会 小林中央眼科	医療法人泰明会 谷藤眼科医院
明元堂眼科医院	
公益財団法人日本テレビ小嶋文化事業団	社会福祉法人読売光と愛の事業団
神奈川県眼科医会 千葉県眼科医会 岐阜県眼科医会	

3) 一般寄附 個人 (敬称略)

園田 康平	柳田 豊子	今泉 信一郎	池田 敏春
細谷 比左志	松村 美代	熊野 祐司	大石 文恵
稲富 誠	安間 正子	三嶋 弘	田中 浩
濱崎 陸	塩田 洋	武田 純爾	寺崎 浩子
田中 令子	駒井 潔	西山 文子	箕田 健生
水鳥川 俊夫	西口 康二	村上 聡子	原田 範子
黒澤 明充	藤村 和昌	藤原 紀男	内田 明
山元 一俊	福下 公子	増田 寛次郎	吉富 健志
貴嶋 陸博	桑原 洋子	滝 昌弘	黒川 明
大津 節男			

4) 学会寄附 法人 (敬称略)

株式会社日本眼科医療センター(宮城県)	わかもと製薬株式会社(宮城県)
エイエムオー・ジャパン株式会社 (東京都)	参天製薬株式会社(福島県)

5) 外国留学眼科医の会寄附 法人 (敬称略)

医療法人社団 石川眼科(埼玉県)	医療法人たかはし眼科(岩手県)
医療法人 安間眼科(愛知県)	医療法人社団 大橋眼科(北海道)
医療法人社団真医会(京都府)	

6) 外国留学眼科医の会寄附 個人 (敬称略)

木内 良明	熊野 祐司	村上 晶	新家 眞
佐々本 研二	手塚 聡一	平野 耕治	松村 美代
三嶋 弘	本田 孔士	堀田 喜裕	黒澤 明充
向野 和雄	園田 康平	橋本 忠男	埼玉医科大学所属医

8. 会員の増強対策

本法人の公益事業遂行のために、正会員(個人会員、法人会員)の継続的な協力が必要不可欠であり、関係各方面に対して入会要請を行った。令和4年度の会員は次のとおり。

法人会員 33法人 (敬称略)

有限会社あけぼのえるむ薬局	アールイーメディカル株式会社
株式会社オフテクス	医療法人社団 海仁
カールツァイスメディテック株式会社	キッセイ薬品工業株式会社
株式会社サンコンタクトレンズ	参天製薬株式会社
株式会社シード	千寿製薬株式会社
ジャパンフォーカス株式会社	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
株式会社TAX	東海光学ホールディングス株式会社
社会福祉法人 東京光の家	株式会社トプコン
株式会社ニコン・エシロール	株式会社ニデック
日東メディック株式会社	医療法人慈融会二宮眼科医院
日本アルコン株式会社	一般社団法人日本眼科医療機器協会
公益社団法人日本眼科手術学会	公益社団法人日本眼鏡技術者協会
日本眼鏡販売店連合会	公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
株式会社日本ルミナス	医療法人博友会原眼科医院
HOYA株式会社	ボシュロム・ジャパン株式会社
メディックスホールディングス株式会社	株式会社メニコン
ロートニッテン株式会社	

個人会員は633名となっている。(ご芳名略)

9. 補助金

次の団体から、令和4年度も補助金の協力を受けた。(敬称略)

公益社団法人日本眼科医会	公益財団法人日本眼科学会
公益社団法人東京都眼科医会	

10. 評議員会及び理事会

令和4年度の評議員会及び理事会の開催は次のとおりである。

なお、日本国内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、定時評議員会は書面により評議員全員の同意の意思表示をもって行う「決議の省略」の方法を用いた。理事会は主に Web 会議(Teams を導入)により開催した。

○ 評議員会

定 時 令和 4年 6月 6日

・令和3年度事業報告について

- ・令和3年度決算報告について

報 告 令和 5年 3月14日

- ・令和5年度事業計画及び収支予算書について送付

○ 理事会

第1回 令和 4年 5月27日

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度決算報告について
- ・定時評議員会の開催の変更について
- ・令和4年度研究助成事業募集要項について
- ・一般研究助成選考委員の決定について
- ・留学研究助成選考委員会の規定について

第2回 令和 4年 9月14日

- ・令和4年度留学研究助成者の決定について
- ・運営費助成金の交付申請について
- ・理事長及び専務理事からの職務執行状況の報告について

第3回 令和 4年12月14日

- ・令和4年度一般研究助成者の決定について
- ・東南アジア眼科医師招聘に対する助成について
- ・啓発冊子「チェック&チェック〈Part51〉」の記事等について
- ・事務局長の任免について
- ・遺贈寄附について

第4回 令和 5年 3月 8日

- ・令和5年度事業計画について
- ・令和5年度収支予算について
- ・令和3年度一般研究助成者の助成期間の延長について
- ・定時評議員会の開催について
- ・令和5年度研究助成事業募集要項について
- ・令和5年度留学研究助成募集要項及び関係大学への推薦案内について
- ・令和4年度下半期の理事長及び専務理事からの職務執行状況の報告について

11. 附属明細書の省略

令和4年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する項目がないため省略する。

以 上